SHIMADZU

Technology, Innovation, Future　未来を創造する最先端ソリューション

分析展2011
科学機器展2011
出展のご案内

2011年9月7日[水]▶9月9日[金]
幕張メッセ国際展示場　10:00～17:00 入場無料
島津ブース 8ホール（8B-701）
さまざまな分析計測技術とアプリケーションをご紹介します。
皆様のご来場を心よりお待ちしております。

島津ブースにてアンケートにお答えいただくと、抽選でiPad2が当たる!!

特設コーナーのご紹介

注目される2つの分野の特設コーナーを設置、お客様のニーズに応える新製品も一挙にご紹介いたします。

ライフイノベーション　LIFE INNOVATION
病気の超早期診断や創薬支援で、新たな医療の可能性を支援
生体内の遺伝子やタンパク質の働きを画像化できる分子イメージング、医薬品中不純物解析など、創薬から製造・品質管理までをサポートする技術をご紹介します。

くらしの安全・安心をより確実に
食品中の異物/不純物検出・品種判別・カビ毒・トランス脂肪酸・残留農薬分析や、大気・水質・土壌など環境保全を支える最新の機器や測定手法についてご紹介します。

グリーンイノベーション　GREEN INNOVATION
クリーンエネルギーの開発を支援
太陽電池開発・製造における材料、セル、モジュールの分析評価技術、Liイオン電池の電極・電解液・セパレータ評価技術などをご紹介します。

島津 Save the Energy プロジェクト
製品開発において、環境に配慮した設計（電力消費やガス消費を抑えた省エネ対応製品）を進める島津独自の取組みをご紹介いたします。

GC-2025　GCMS-QP2010 Ultra

出展製品

NEW 超高速液体クロマトグラフ Nexera MP
トリプル四重極型質量分析計 LCMS-8030
NEW 全有機体炭素計 TOC-L
NEW 電子式水分計 MOC63u
ガスクロマトグラフ質量分析計 GCMS-QP2010 Ultra
キャピラリガスクロマトグラフ GC-2025
におい識別装置 FF-2020
NEW 走査型プローブ顕微鏡 SPM-9700

主な出展製品

■ガスクロマトグラフ
■ガスクロマトグラフ質量分析計
■超高速液体クロマトグラフ
■イオンクロマトグラフ
■高速液体クロマトグラフ質量分析計
■データ管理・ネットワークシステム
■紫外可視近赤外分光光度計
■フーリエ変換赤外分光光度計
■原子吸光分光光度計
■ICP発光分析装置
■発光分析装置
■各種熱分析装置
■におい識別装置
■におい嗅ぎGC/GCMSシステム
■レーザー脱離イオン化四重極イオントラップ飛行時間型質量分析計
■マイクロチップ電気泳動装置
■ライフサイエンス分光光度計
■蛍光X線分析装置
■X線回折装置
■走査電子顕微鏡
■電子線マイクロアナライザ
■走査型プローブ顕微鏡
■ナノサーチ顕微鏡
■3D測定レーザー顕微鏡
■イメージングX線光電子分析装置
■粒度分布測定装置
■比表面積／細孔分布測定装置
■乾式自動密度計
■精密万能試験機
■全有機体炭素計
■天びん
■株式会社島津ジーエルシー
■クロマト消耗品

展示内容は予告なく変更になることがございますので、予めご了承ください。

株式会社 島津製作所　分析計測事業部　http://www.an.shimadzu.co.jp
■東京 (03) 3219-5685　■都山 (024) 939-3790　■静岡 (054) 285-0124　■岡山 (086) 221-2511
■関西 (06) 6373-6556　■つくば (029) 851-8515　■名古屋 (052) 565-7531　■四国 (087) 823-6623
■札幌 (011) 205-5500　■北関東 (048) 646-0081　■京都 (075) 823-1603　■広島 (082) 248-4312
■東北 (022) 221-6231　■横浜 (045) 311-4615　■神戸 (078) 331-9665　■九州 (092) 283-3334

WELCO　低回転型で 新登場

Pump Your Needs.

世界が待ち望んだ、超小型フルスペックモデル。

WPM　PERISTALTIC PUMP
【超小型高性能チューブポンプ】

製品カタログダウンロードおよびお問い合わせ先　ウエルコ　検索
http://www.welco-web.co.jp
株式会社 ウエルコ　〒183-0034 東京都府中市住吉町3-3-1 TEL.042-333-7311 FAX.042-333-7313

分析展2011 ブースNo.6A-602

Quality is the difference

analytikjena　Techno-X

株式会社アナリティクイエナ ジャパンと株式会社テクノエックスは
分析展2011に共同で出展致します。
（ブースNo.5A-605、6A-702、6A-703）
掲載の最新機種の他、スクリーニングから定量分析に至る
「トータルソリューション」を発信致します。
皆様のご来場、心よりお待ち致しております。

放射性セシウムモニター付もラインナップ

高感度高分解能ファーネス専用
原子吸光分析装置 contrAA®600

食品中カドミウム分析専用
蛍光X線分析装置 FD-08

ajJAPAN 株式会社 アナリティクイエナ ジャパン
本社 〒240-0005 横浜市保土ヶ谷区神戸町134番地 横浜ビジネスパーク イーストタワー11階
TEL:045-340-5740 FAX:045-340-5745 http://www.analytik-jena.co.jp/

Techno-X 株式会社 テクノエックス
本社 〒533-0033 大阪市東淀川区東中島5丁目18番20号
TEL:06-6323-1100 FAX:06-6323-7770 http://techno-x.co.jp

分析展2011／科学機器展2011 いよいよ開幕

9月7―9日 千葉・幕張メッセ

9月7日から9日までの3日間、千葉・幕張の幕張メッセ国際展示場で「分析展2011（第49回）／科学機器展2011（第34回）」が開催される。主催は社団法人日本分析機器工業会（JAIMA）と日本科学機器団体連合会。この合同展はアジア最大の1284小間、404社・機関が参加する分析・科学機器のワンストップショー。入場料は無料。

来て・見て・わかる

「分析展2011／科学機器展2011」には分析機器・装置、分析機械部品やコンポーネント、試験機器・装置、理化学機器、環境計測機器や工業用計測機器、バイオ関連機器・装置、生産プロセス機器・装置など、研究から分析、試験を支える最新の製品、サービス、情報が紹介される。

今年の同展のキャッチフレーズは「来て・見て・わかる　確かな技術（Connecting Innovative Technology with Superior Science）」。同展は昨年から、日本分析機器工業会主催の「分析展」と、東京と大阪の交互で開催されてきた日本科学機器団体連合会主催の「科学機器展」の合同開催となった。アジア最大の開催規模の分析・試験関連の展示会であり、〝研究、開発、分析の入口から出口まで〟の最新情報が発信される。

「分析展2011／科学機器展2011」は展示に加えて、JAIMAをはじめ、日本分析化学会や日本顕微鏡学会、応用物理学会といった学会や、日本規格協会、科学技術振興機構、産業技術総合研究所などの各団体が主催する講演会やシンポジウム、セミナー、討論会などで多くの技術的、学術的な発表が行われる。

その中核となるのが「JAIMAコンファレンス」だ。会期は展示会開幕の1日前、9月6日から9日まで。会場は幕張メッセ国際会議室とコンベンションホールA、B。

同コンファレンスの中で、JAIMAはJAIMAフォーラム「グリーン・イノベーションと持続可能な社会への展望」JAIMAシンポジウム「循環型社会の構築を促進するための分析機器・技術」「特別セミナー日本薬局方の意義と役割―第16改正変更点と今後の展望―」「JAIMAセミナー」「International Session」を開く。

環境技術フォーラム

昨年、政府が打ち出した「新経済成長戦略」ではグリーン・イノベーションとライフ・イノベーションの推進が重点目標になっている。そのため、マザーツールである分析・計測機器の技術開発には大きな期待が寄せられている。

化学分野における〝グリーン・サスティナブルケミストリー（GSC）〟と〝再生可能エネルギー〟は環境負荷を可能な限り低減していくための重要な技術。7日13時から、国際会議場2階201会議室で行われるJAIMAフォーラム「グリーン・イノベーションと持続可能な社会への展望」は技術開発の現状を紹介し、将来を展望。太陽光発電や、バイオマス利用技術についての講演が予定されている。

また、9日13時25分から国際会議場1階105会議室で行われるJAIMAシンポジウム「循環型社会の構築を促進するための分析機器・技術」では、今後、資源制約問題や環境問題に配慮して化学品などを持続的に生産、供給するための生産プロセスで活用される機器、技術動向の調査結果が発表される。

また、廃棄物処理現場で直面する課題解決、プラスチックのリサイクルシスシステム構築での利用、さらにはレアメタル技術開発で期待されている計測・分析技術が紹介される。

日本薬局方セミナー

日本薬局方が5年ぶりに大きく見直され、製薬関連企業、分析機器関連企業をはじめ、業界関係者から多くの注目を集めている。薬事法第41条で、日本薬局方は医薬品の性状および品質の適正を図るため、厚生労働大臣が薬事・食品衛生審議会の意見から定めた医薬品の規格基準書。通則、生薬総則、製剤総則、一般試験法及び医薬品各条から構成されており、収載医薬品は日本で利用されている医薬品が中心となっている。

改正を機会に、日本薬局方に関して関係者があらためて知る機会となるのが、特別セミナー「日本薬局方の意義と役割―第16改正変更点と今後の展望―」である。薬局方とは何か、また、今回の改正で何が変わったかを中心に、改正に携わった関係者が講演を行う。会場は国際会議場コンベンションホールA。

一方、「JAIMAセミナー」は初心者から中級レベルまでの分析実務者向けセミナーだ。7日から9日まで、全8講座が開催される。「初めての機器分析」「機器分析のステップアップ」「これであなたも専門家」と題した講座で、「質量分析（MS）」「イオンクロマトグラフィー（IC）」「ガスクロマトグラフィー（GC）」「フローインジェクション分析（FIA）」「液体クロマトグラフィー（LC）」といった機器分析が解説される。

質量分析の最新技術

7日から9日までの3日間にわたって開催される「International Session」はUSシンポジウム2011「最新の質量分析」、ポスターセッション&フラッシュプレゼンテーション、東京インターナショナルコンファレンス2011、日韓技術交流セミナー「環境規制の動向及び分析法の最前線」の4セッションで構成される。

USシンポジウムは米国Pittcon委員会とJAIMAが連携して開催する。「Pittcon」は米国で毎年開催されている分析機器、計測機器とその周辺装置の展示会とコンファレンスの総称。今回は微量分析に重要な質量分析の最新技術を米国3大学の研究者が紹介する。

また、東京インターナショナルコンファレンス2011では日米の研究者が「ミクロスケール電気泳動法と高感度検出技術」「バイオトランジスターを用いたバイオ分子認識の検出」など、最先端分析技術の現状を紹介、将来を展望する。

JAIMA主催のセミナー、シンポジウムなどはいずれも無料だが、2日18時までに分析展／科学機器展サイトから事前登録が必要。また、JAIMA主催以外のコンファレンスにおけるセミナーやシンポジウムはプログラムによって異なる。各プログラムの受講料、テキスト代、事前登録の要否に関しては展示会ウエブサイトで案内されている。（12面に続く）

分析展2011 科学機器展2011

最先端を、最前線へ。
～日立アナリティカルソリューション 分析から評価まで先端ソリューションは日立から～

会　期：2011年9月7日(水)～9日(金) 10:00～17:00
会　場：幕張メッセ 国際展示場6ホール ブースNo.6A-801
入 場 料：無料（ただし事前登録が必要です）

日立ハイテク HITACHI

■日立ハイテクブース必見ポイント

必見1
新スタンダードHPLC「Chromaster」Debut!
Chromaster Debut
「性能」「機能」「信頼性」の更なる向上を実現し新たなHPLCとして誕生した「Chromaster（クロムマスター）」が、分析展/科学機器展に初登場! その新型高速液体クロマトグラフ「Chromaster」の特長や導入メリットを実機、映像により詳しくご紹介いたします。

必見2
今年もやります! 卓上顕微鏡Miniscope® TM3000 デモンストレーション
Miniscope® TM3000
昨年の分析展/科学機器展でご好評いただきましたMiniscope® TM3000の体験デモンストレーション。今年も特設コーナーにて実施いたします。ぜひ卓上顕微鏡によるミクロの世界をご体験ください。詳細は営業までお問い合わせください。

必見3
新エネルギー、省エネをはじめいま話題の最新ソリューションをご紹介
Energy Solution
今後ますます注目が高まる太陽電池やリチウムイオン電池をはじめとした新エネルギー。現在対策が急務となっている省エネ。「エネルギーソリューションゾーン」では、いま話題のエネルギーに関連する最新のアプリケーションや分析手法をご紹介いたします。

必見4
新型NMR Debut! これまでのイメージを覆すユーザーフレンドリーなNMRが登場!
Debut
NMRは有効な手段だがメンテナンスが大変、運用が煩雑、広い設置スペースが必要などのイメージを持たれていませんか? そんなイメージを覆す新コンセプト「EASY TO RIDE」なNMRが登場! 新たなルーチン分析ツールとしてご提案します。是非お立ち寄りください。

■出展製品のご案内

クロマトソリューションゾーン担当者おすすめポイント
お客様のニーズを徹底して調査し、きめ細かな改善を行い誕生した日立新型HPLC「Chromaster（クロムマスター）」をどうぞご覧ください。各種機器の実機展示をはじめ、医薬、食品分野など多岐にわたる最新のアプリケーションを紹介させていただきます。
担当：田中

主な出展製品
日立高速液体クロマトグラフ「Chromaster」New!
日立高速液体クロマトグラフ「LaChrom Elite」
日立超高速液体クロマトグラフ「LaChromUltra」
日立高速アミノ酸分析計「AMINOSAGE」
日立HPLC用分析カラム「LaChrom」シリーズ
日立純正バイアル
日立固相充填カラム「NOBIAS」シリーズ
平沼自動固相抽出装置「SPE-100」

エネルギーソリューションゾーン担当者おすすめポイント
石油代替エネルギーとして期待される太陽電池、バイオ燃料をはじめ、Liイオン電池、節電技術として注目されているLED、遮熱塗料等、エネルギーに関係する旬な技術をキーワードに、日立が提案する最適な評価、分析アプリケーションを紹介します。
当ブースへのご来場を心よりお待ちしております。
担当：三日市

主な出展製品
日立分光光度計「U-4100」
U-4100用アクセサリ「角度可変絶対反射、密着ホルダ、150φ積分球」
日立レシオビーム分光光度計「U-5100」
日立偏光ゼーマン原子吸光光度計「Z-2010」
日立分光蛍光光度計「F-7000」量子収率測定システム
サーモサイエンティフィック顕微FT-IRシステム「Nicolet iN10」
サーモサイエンティフィックICP発光分光分析装置「iCAP6000」
MOCON超高感度水蒸気透過率測定装置「AQUATRAN®」
MOCON水蒸気透過率測定装置「PERMATRAN-W® 1/50」

解析・評価ソリューションゾーン担当者おすすめポイント
電子顕微鏡からは、新製品である以下3機種の特長についてご紹介します。
・世界最高分解能0.4nmを実現したSU9000形超高分解能走査電子顕微鏡。
・断面ミリングと平面ミリングの両立を実現したIM4000形イオンミリング装置。
・リアルタイムスクリーンカメラにより、明るい部屋での観察を実現したHT7700形透過電子顕微鏡。
担当：坪井

主な出展製品
日立卓上顕微鏡「Miniscope® TM3000」
TM3000専用エネルギー分散型X線分析装置「Quantax70」
TM3000専用エネルギー分散型X線分析装置「SwiftED3000」
日立イオンミリング装置「IM4000」New!
日立超高分解能電界放出形走査電子顕微鏡「SU9000」New!
日立透過電子顕微鏡「HT7700」New!

滴定・水分・水銀・TOC・マイクロプレート・NMR担当者おすすめポイント
全有機炭素測定装置・マイクロプレートリーダ・NMRと新製品が目白押しです。あるとないでは大違い! ユーザーフレンドリーな新型NMRや、ルーチン分析を高精度かつハイスループットにこなす強い味方、マイクロプレートリーダ・滴定装置をご紹介いたします。あらゆる分野で活躍すること間違いなしです! お手元に一台いかがですか?
担当：森川

主な出展製品
平沼自動滴定装置「COM-1700」
平沼微量水分測定装置「AQ-2250」New!
平沼水銀測定装置「HG-450」
平沼全有機炭素測定装置「TOC-2300」New!
コロナマルチグレーティングマイクロプレートリーダ「SH-9000Lab」
コロナ吸光グレーティングマイクロプレートリーダ「SH-1200Lab」New!
BRUKER NMR New!

■新技術説明会のご案内
最先端の分析技術や注目のトピックスなどをご紹介します。
会場：アパホテル&リゾート〈東京ベイ幕張〉　定員：100名

日時		会場	テーマ
9/7(水)	10:30～10:55	A-2	実践! 分光光度計を用いた固体試料測定のノウハウ ～新エネルギー素材などの評価～
	11:50～12:15	A-1	こんなに見える! FE-SEMを用いた材料評価のための最新技法
	15:10～15:35	A-3	低炭素社会を支える原子吸光アプリケーション ～材料分析から環境評価まで～
9/8(木)	10:30～10:55	A-2	各種材料解析における低真空SEMの最新機能と、最新アプリケーションのご紹介
	10:30～10:55	A-4	高感度化、低価格を実現! 魅力あふれる新型TOC測定装置のご紹介
	11:50～12:15	A-2	「バイオ医薬品」品質評価プロセスのご提案 ～アミノ酸・糖鎖解析からのアプローチ～
9/9(金)	11:10～11:35	A-2	こんなに簡単! ユニバーサルデザインTEMを用いた材料評価のための最新技術
	13:10～13:35	A-2	発光素材からバイオ・製薬・食品分野まで。話題の蛍光サンプル測定のちょっとしたコツ
	13:20～14:10	A-11	新たなスタンダードHPLC登場! 日立新型液体クロマトグラフChromasterのご紹介

株式会社日立ハイテクノロジーズ　本社 〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号 電話(03)3504-7211　URL http://www.hitachi-hitec.com/science/
北海道(札幌)(011)707-3343　東北(仙台)(022)264-2211　中部(名古屋)(052)219-1683　関西(大阪)(06)4807-2551　京都(075)241-1591　四国(高松)(087)814-9911　九州(福岡)(092)778-3005　沖縄(098)863-8295